



▲Oliver Statler

愛媛大学法文学部附属 四国遍路・世界の巡礼研究センター 春季公開講演会 2018

四国遍路を世界遺産にという活動が進んでいます。世界遺産になるためには、資産の文化財登録とともに、「普遍的価値の証明」が必要とされています。「普遍的価値の証明」とは、四国遍路の歴史や特徴を明らかにして、世界中の人々からその価値を認められることです。講演会では、四国遍路を世界に発信する、過去と現在の取り組みを紹介します。

2018年4月14日(土) 13:30～16:00

David C MORETON

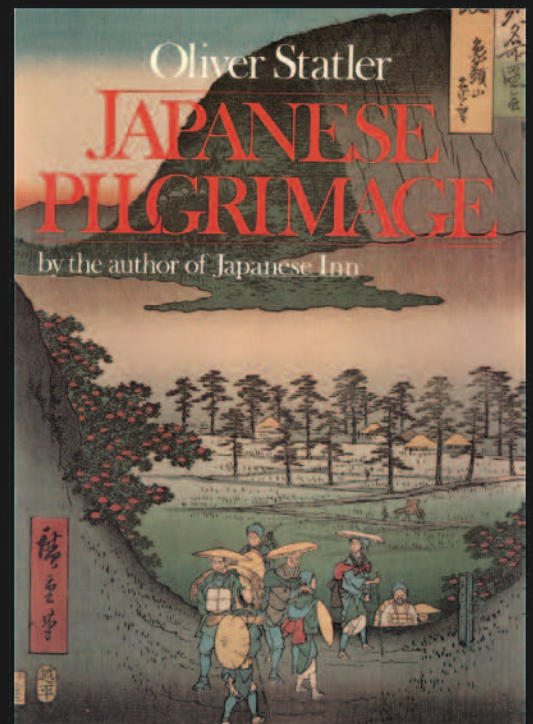
オリヴァー・スタットラーから見た
四国遍路と世界への発信

モートン常慈
徳島大学准教授

Hikaru EBESU

スペイン・ガリシア州と四国の協力協定
—世界遺産登録に向けた文化交流—

胡 光
愛媛大学教授



▲ JAPANESE PILGRIMAGE by Dr.Oliver Statler

Research Center for
the Shikoku Henro and Pilgrimages of the World

主催

共催

会場

問い合わせ

愛媛大学法文学部附属
四国遍路・世界の巡礼研究センター

愛媛大学人文学会

愛媛大学南加記念ホール

*入場無料(事前の予約はいりません)

*駐車スペースがありませんので、公共交通機関をご利用ください。

愛媛大学法文学部附属
四国遍路・世界の巡礼研究センター

〒790-8577 松山市文京町3番地

TEL: 089-927-9312 <http://henro.ll.ehime-u.ac.jp/>

E-mail: henro.center.ehime@gmail.com

